

令和7年度指定管理者制度導入施設の管理運営業務の年度評価 評価基準表

施 設 名	母子父子福祉センター
所 管 部 (局) 課	こども未来部 子育て給付課
指 定 管 理 者	社会福祉法人 豊中市母子寡婦福祉会

	評価項目	評価ポイント	所管部局コメント	評価
1	基本姿勢	団体の経営目標等が公共の利益の増進に合致したものであるか 市の施策全般を理解し協力しているか 地方自治法等の関連法令を遵守しているか 施設の設置目的に沿った事業運営を行っているか	「母子及び父子並びに寡婦福祉法（昭和39年法律第129号）に基づく母子・父子福祉施設として、豊中市に母子・父子福祉センターを設置する。」との設置目的を果たすため、指定管理者として子育て・子育て支援行動計画など市の施策を基にした方針を立て運営に取り組んでいる。チラシデザインの改訂やWEBでの事業申込受付の開始などにより、事業の周知や市民の利便性の向上を図ったことは評価できる。	B
2	サービス水準・施設効用の発揮	その施設として重要と思われる業績の評価指標（KPI） 事業利用者人数 （大をめざすもの） 相談件数 （大をめざすもの） 施設の維持管理を安心安全に配慮して行っているか 利用者等にサービスを提供するうえで、事故防止のための安全管理が徹底されているか 使用許可の判断等を公平公正に行っているか 安定して確実に日常業務を遂行しているか 創意工夫ある独自企画事業を展開しているか	最高評価サービス水準値；1,500 人 確保すべきサービス水準値；1,000 人 実績値；1,175 人 最高評価サービス水準値；220 件 確保すべきサービス水準値；150 件 実績値；422 件 事業利用者延べ人数は最高評価サービス水準値には到達しなかったが、確保すべきサービスレベルは満たしており、相談件数は最高評価サービス水準を大幅に上回った。施設の維持管理や事故防止についても関連部局と協力し、安心安全な運営に努めていた。親子（面会）交流支援事業については、交流支援を実施した5組の内、支援終了後も2組が父母自らの力で親子交流の継続実施につながった。親子（面会）交流事業の支援者や利用者へのアンケート調査の結果分析を行い、更なるサービス向上を図っていただきたい。一方、独自企画事業については、前例踏襲の事業が多く創意工夫がなされていると言えないため、新規事業のみならず、既存事業のアップデートなど一層の工夫をお願いしたい。	B
3	財務健全性	貸借対照表は健全か 損益計算書は健全か 資金保有（期末残高）は健全か （当該事業の）収支状況・収支計画は適切か	流動負債に対する流動資産の割合（流動比率）が283.9%で100%を超えており、純資産に対する負債の割合（負債比率）が10.0%であることなどから財政状況は安定している。	B

	評価項目	評価ポイント	所管部局コメント	評価
4	市民満足度への配慮	利用者アンケート・市民の声等の状況は良好か 地域の市民との関係は良好か	指定管理者の責めによるクレームもなく、84.7%の人がアンケートで満足したとの回答であったことは高く評価できる。 コロナ禍やセンターの建替を経て、6年ぶりに開催したセンター夏祭りでは、多くの地域市民の参加により、センターの認知度向上につながった。	B
5	従業者への配慮	労働関係法令を遵守しているか 研修は実施されているか 従業者が働きがいを持ちいきいきと業務に取り組んでいるか 従事者（第三者委託先の従事者含む）が業務を行う際の安全管理が徹底されているか	労働関係法令違反がない運営を行っている。 計画に基づく接遇、人権研修を実施している。 ストレスチェックを実施するなど従事者の働きやすい環境整備に取り組んでいる。 組織内部での研修の実施や外部研修への参加など、研修の機会を確保し、専門性や技能のスキルアップを図るなど、資質向上の取組みは評価できる。	B
6	個人情報保護体制	個人情報保護の体制が整備されているか	個人データの適正管理や個人情報保護管理者等を規定する個人情報保護規程が整備され運用されている。	B
7	危機管理体制	緊急事態発生等への危機管理体制が整備されているか	緊急時対応計画の策定、消防訓練（年1回）の実施など、問題のない管理運営体制であるといえる。	B
8	その他	その他、条例等から必要と判断される評価事項	特になし	
	総合評価		安全・安心な施設の維持管理に加え、WEBによる事業申込受付の開始など利用しやすい環境整備が進められている点や、親子（面会）交流支援により、父母自らの力で親子（面会）交流が継続実施されていることも評価できる。 新たに採用した従事者2名も業務に慣れ、定着していることから、安定した運営体制が確保されている。 民法改正による、離婚後のこどもの養育のあり方の変化に対して、きめ細やかなサポートや多面的なアプローチが必要である。今後も、関係機関や団体と連携し、多様な事業の提供を通じて、社会情勢の変化や市民ニーズに柔軟に対応し、ひとり親家庭支援の充実に向けて寄与することを期待する。	B

（評価の基準）

- A；優れた管理運営状況である
B；問題のない管理運営状況である
C；改善を要する管理運営状況である